

北村哲朗

野上裕之

山田郷

丸山恭子

ナカムラアリ

坂本正太郎

作品で会話できる、
そんな関係がいいな
—丸山隆

千葉有造

佐藤一明

第2期

2017年

11月8日(水)

12月10日(日)

第1期

2017年

10月7日(土)

11月5日(日)

記憶素子

—丸山隆と教え子たち—



◆丸山隆《残留応力》1992年

菅原尚俊

藤本和彦

岡田陽子

牧野秀昭

次山知子

春藤聡子

加藤宏子

長谷川裕基

安住賢一

藤田尚宏

富原加奈子

武蔵未知

◆印以外は、本展出品作とは異なります。会場には各作家の新作が展示されます。

開館時間 | 10:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日 (ただし10/9(月・祝)は開館し、翌10/10(火)休館)

観覧料 | 第1期・第2期 共通チケット 1枚で1期・2期両方の展示をご覧いただけます。

一般 600 (500) 円 65歳以上 500 (400) 円 高大生 400 (300) 円
中学生以下無料 ※ () 内は10名以上の団体料金

本郷新記念札幌彫刻美術館
Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo

主催 / 本郷新記念札幌彫刻美術館 (札幌市芸術文化財団)、記憶素子展実行委員会

〒064-5709 札幌市中央区宮の森4条12丁目 Tel.011-642-5709



丸山 隆

彫刻家・丸山隆とその教え子たち20名の作品で構成し、丸山が後進の育成に果たした功績を検証します。丸山は、1954年に長野県に生まれました。東京藝術大学大学院で彫刻を専攻後、北海道教育大学札幌校で教鞭をとり、100名以上の教え子を世に送り出しました。《残留余力》や《不可視コード》など代表作のタイトルにも明らかなように、丸山は、自然の内奥にひそむ原理に強い関心を抱き、その造形化に取り組みました。石彫やブロンズ、鉄をはじめ幅広い素材を用いて、目に見えないものを抽象的な形態で造形する旺盛な作品制作をおこなっていました。一方、その薫陶を受けた後進たちの作品も、師に負けず劣らず、石彫からインスタレーション、映像作品まで、多様な広がりを見せています。

本展で作品とともに紹介されるのは、丸山が教え子たちに折にふれて投げかけた「ことば」の数々です。作家として、師として活動した丸山の芸術性と思想を回顧しながら、今を生き新たな作品を生み出し続ける教え子たちの表現に迫ります。

記憶素子

丸山隆と教え子たち

出品予定作家

【第1期】出田郷、北村哲朗、菅原尚俊、園田陽子、千葉有造、野上裕之、牧野秀昭、丸山恭子、武蔵未知、藤本和彦、ナカムラアリ【第2期】秋山知子、安住賢一、加藤宏子、坂本正太郎、佐藤一明、春藤聡子、富原加奈子、長谷川裕恭、藤田尚宏【両期共通】丸山隆

関連イベント

アーティスト・リレー・トーク 出品者による作品ガイド

本館展示室 / 【第1期】10月22日(日) 13:00~ 【第2期】11月19日(日) 13:00~

ワークショップ①



親子でメタルアートを楽しもう！ キーホルダーづくり

【第1期】10月29日(日)

ワークショップ②



ワインボトルの ランタンづくり

【第2期】11月23日(祝・木)

錫を低温で溶かし、型に流すと、メダル型のオリジナルアイテムができます。輪っかを付けて銀色のキーホルダーのできあがり！

① 10:00~12:00 ② 13:00~15:00
(時間：30分 参加費：無料)

左記の時間帯で
随時受付・制作します

*小・中学生と一緒に来場された保護者の方限定(小学生は保護者同伴)*事前申し込み不要、混雑状況で時間整理券を配付します。*お一人様ひとつまで。

ガラスをカットして、インテリアに役立てる小物づくりです。

① 11:00~ ② 13:00~ ③ 14:00~

(時間：45分 参加費：500円 ※対象年齢18歳以上)

各回定員5名、電話による事前申し込み受付

受付開始：11月1日(水)から

電話：011-642-5709 本郷新記念札幌彫刻美術館

(受付9:30-17:00/月曜日休館・祝日の際は翌火曜日休館)

記念館へどうぞ

本館に隣接する記念館は、彫刻家・本郷新が東京で活躍する傍ら故郷に建てたアトリエです。本郷が手がけたスケールの大きな野外彫刻の石膏原型や、ブロンズ、木彫、テラコッタなどの代表作のほか、制作道具、家具などを常設展示。かつての邸宅の雰囲気なかで、本郷新の芸術とその制作の息吹にふれることができます。

[常設展] 本郷新の人と芸術

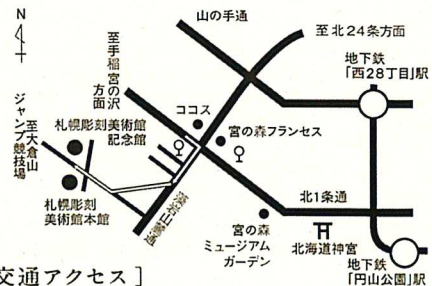
彫刻家・本郷新の人となりや制作姿勢を、作品や資料を通してご紹介します。

2017年4月22日(土)より通年 休館日/月曜日

※ただし祝日の場合は開館し、翌火曜休館



《嵐の中の母子像》(1953年)と本郷新



[交通アクセス]

○公共交通機関をご利用の場合

地下鉄東西線「西28丁目」駅バスターミナル2番のりばから山の手線循環西20乗車(約5分)、「彫刻美術館入口」下車、徒歩約10分

○お車をご利用の場合

市内中心部より約15分、無料駐車場あり